

第168号

まつの 社協だより

令和5年8月発行

編集・発行
社会福祉法人
松野町社会福祉協議会

〒798-2101
北宇和郡松野町大字松丸1661-13
TEL (0895) 42-0794
FAX (0895) 20-5311



私たちの **ふだんの** **くらしを** **しあわせにするため**

「多世代で助け合える関係を」

松野中学校2年生のみなさんと、福祉ボランティアグループのみなさんが、防災をテーマに福祉教育を行いました。

防災安全課の方から、5年前の豪雨災害について学び、ハザードマップを確認したり、段ボールベットを組み立てて体験してみました。

交流を通して、様々な人の視点に立って考えることの大切さを感じ、自分ができることについて考えました。



熱中症を予防しましょう

～予防法ができているかチェックしてみましょう～

- ☐ エアコン、扇風機を上手に使用している。
- ☐ 部屋の温度を測っている。
- ☐ 部屋の風通しを良くしている。
- ☐ こまめに水分補給をしている。
- ☐ 暑いときは無理をしない。
- ☐ 涼しい服装をしている。外出時は日傘、帽子を。
- ☐ 緊急時の連絡先を確認している。

できていますか？



ケアマネージャー
小田

厚生労働省ホームページより

地域の障がい者の社会参加と自立更生の促進を！

平成17年度から松野町身体障害者福祉協議会の役員を務められている伊藤祐久さんが、県身障連会長表彰（更生援護功労者）を受けられました。地域のために長年、ご尽力下さりありがとうございます。改めて、受賞おめでとうございます！



伊藤 祐久さん



訪問型サービス スタッフ募集！



- 募集人員 若干名（パートタイマー）
 - 町内在住の要支援1、2の高齢者等の自宅を訪問し、ケアプランに基づき、家事援助等の簡易な生活支援サービスを行なうことで、高齢者の日常生活を支え、介護状態となることの予防や軽減を図ることを目的として、訪問活動を行っていただきます。
 - ・ 掃除、洗濯、ゴミの分別、ゴミ出し、買い物、調理や調理の下ごしらえ、健康チェック等
 - ヘルパー等の資格がなくても、一定の研修を受講していただくことで従事できます。
 - 時給 1,200円（通勤手当・資格手当・賞与有）
- ※詳細は、ホームページをご覧ください。お気軽にお問い合わせください。
お問い合わせ先 ☎ (0895) 42-0794 松野町社会福祉協議会（担当：太場）

季節と笑顔をお届ける

折り紙ボランティア活動紹介



折り紙ボランティアの皆さんは、町内小中学校に季節ごとの折り紙や壁面かざりを作ったり、保育園で折り紙教室をしながら、世代間交流や楽しみづくりをされています。

今回は夏をテーマに、みんなが笑顔になるような壁面かざりに取り組まれ、中学生ボランティアや地域おこし協力隊の方も参加されました。

参加された中学生ボランティアさんからは「地域の方と協力して作ることができてよかった。休憩の時間に、みんなとお菓子を食べてめっちゃおいしく感じた！昔の松中の話や昔の色々な話を聞けて、とても楽しい時間を過ごすことができてよかった。」と感想をいただきました。

毎日コツコツ健康貯筋

新型コロナウイルス感染症の影響で、外出する機会が減り、体力や気力が落ちたという方はいらっしゃいませんか。

松野町社協では、住民の皆さんが人とのつながりを大切にしながら元気に暮らせるきっかけづくりとして、座ってできる体操「毎日体操」を診療所理学療法士さんや地域おこし協力隊の方などと一緒に作りしました。

この「毎日体操」は松野音頭にあわせてできる体操です。

毎日無理なく、自分のペースで体操に取り組み、年齢を重ねてもいつまでも健康でイキイキと自分らしい生活を送っていただきたいと思います。

「毎日体操」をしてみたい方は、松野町社協までお問い合わせください。

① 前奏



つま先 上げ下げ

② 桃の花咲く緑ヶ丘でサテ



③ ささ 踊ろう上手に手をとって



④ みんな 楽しい町づくり



毎日体操

～未来貯筋～

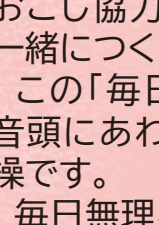
♪松野音頭

⑤ ちいとおきな松野の里へ

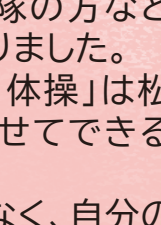


かかと 上げ下げ

⑥ こころほのぼの こころほのぼの



⑦ 夢の町



新 役 員 の 紹 介

6月に開催されました、理事会・評議員会において、任期満了による役員改選が行われ、新しい役員が決まりました。

会長 就任あいさつ



この度、六月二十日の理事会において、会長に選任されました中森でございます。副会長ともども、宜しくお願い申し上げます。

微力ではございますが、地域福祉の推進、充実に向け、誠心誠意努めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、行動制限が緩和され、徐々に以前の様な生活が戻ってきました。この3年間、私たちは様々な困難を経験してきました。そうした中で得られた課題や教訓をこれからの生活に生かしていくことが大切だと考えております。

コロナ禍で希薄になった人と人との繋がり、地域のつながりなどを再構築させ、「誰もが安心して、自分らしく生活できる福祉のまちづくり」のため、役職員一丸となって活動してまいります。

今後とも本会の諸活動に對しまして、あたたかいご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

理事・監事・評議員の紹介

【理事】	12名	竹内 義富 （区長会代表）
会長	中森 京司 （学識経験者）	曾根 藤光 （民生児童委員協議会代表）
副会長	高橋 久美子 （学識経験者）	古谷 敏子 （福祉ボランティア代表）
		川内 秋男 （身障者福祉協議会代表）
		曾根 恵 （人権対策協議会代表）
		三好 まり子 （人権擁護委員代表）
		山口 賢三 （隣保館代表）
		竹内 泰子 （保育園長等の経験者）
		兵頭 勝仁 （宇和島福祉協会）
		上本 恵子 （保健福祉課）
【監事】	2名	
丸身 和男 （学識経験者）	岡村 俊男 （学識経験者）	
【評議員】	25名	
森岡 健治 （議会代表）	太田 博子 （民生委員女性代表）	
井上 六廣 （松丸区長）	鶴本 好福 （老人クラブ連合会長）	
岡村 勝 （延野々区長）	毛利 正幸 （前公民館の代表）	
中脇 優 （豊岡後区長）	井関 修三 （松野町小中学校長会代表）	
中湯 廣和 （豊岡前区長）	沖 留美子 （教育委員の代表）	
須田 正文 （富岡区長）	関 秀行 （えひめ南農協松野支所長）	
濱田 章二 （上家地区長）	安西 博文 （遺族会の代表）	
長谷 信昭 （吉野区長）	藤城 嘉志子 （母子寡婦福祉協議会会長）	
大内 義昭 （蕨生区長）	山田 龍治 （NPOまちづくり青年会議代表）	
西村 正人 （奥野川区長）	竹葉 誠 （古城園施設長）	
山下 武久 （商工会代表）	岡村 雅人 （フレンドまつの施設長）	
毛利 達晴 （保護司代表）	芝 吉彦 （町民課長）	
	山崎 ルリ子 （行政相談委員）	
		（順不同 敬称略）
任期	令和七年六月定時評議員会終結まで	

事業報告 決算報告

令和4年度の事業報告ならびに収支決算について、主な内容を報告します。

【法人運営事業】

- 会議・各種大会の開催 敬老行事の実施 少年の日を祝う会への助成
- 社協会費募集結果 総件数 1,073 件 会費金額 1,107,000 円
- 松野町老人クラブ連合会・身体障害者福祉協議会・遺族会の事務局として支援
- 日赤奉仕団の支援(会議・ボランティア等の支援) 母子寡婦福祉協議会(事業費支援)
- 日本赤十字社募金 社資募金額実績 577,000 円

【地域福祉推進事業】

- 第2期地域福祉活動計画の推進
「いまある支え合いを大切に自分たちでまちづくり」を基本理念に、5ヵ年計画の1年目にあたり、地区の活動状況や課題を振り返り、活動計画の共有と住民への周知方法について検討した。
- ボランティア活動の支援
折り紙教室の開催、通学路清掃活動、子育て世帯への支援活動、広報誌の音訳、読み聞かせ等のボランティア活動を支援した。
- 福祉教育の取り組み
ふだんのくらしをしあわせにするという視点で福祉を身近に感じ、みんなと一緒に幸せに暮らしていくために必要なことや出来る事を考えるきっかけづくりとして、学校等と協働し取り組んだ。
- 生活支援体制整備事業
住民の健康づくり、地域の見守りネットワークづくりのため、理学療法士、地域おこし協力隊と連携し作った「未来貯筋体操」を周知するための動画を作成した。
- 生活困窮者自立支援事業
県からの受託により「くらしの相談支援室」を開設。多様で複合的な課題の解決に向け、総合的な相談を受け付けるとともに、家計相談支援事業も実施した。年間相談件数 418 回
- ふれあい・いきいきサロンの支援(町内 10 グループ)
情報交換、ふれあい、心身の健康づくりや生きがいづくりを目的とした住民主体の活動を支援した。コロナウイルス感染症の影響で開催しづらかったが、参加者同士で安否確認をしあい、つながりを絶やさない活動を支援した。
- 生きがい活動支援通所事業の実施
おおむね 65 歳以上の方を対象に、介護予防と自立的な生活が送れるよう、社会参加を推進し、健康講座や趣味の創作活動を支援した。コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止・開催時間を短縮する対応をし、中止期間中は個別に電話で体調の聞き取りや訪問を行ったり、脳トレや体操のプリントを郵送した。(参加者 49 名)
- 心配ごと相談事業 実施回数 年間 12 回(内、弁護士相談 3 回 / 年) 年間相談件数 4 件
- 福祉サービス利用援助事業
判断能力に不安、または不十分な方であっても福祉サービスの利用が適切に利用できるよう援助し、これに伴う日常的な金銭管理等をあわせて行った。
- 生活福祉資金貸付事業(県社協受託) 貸付実績 8 件 1,386,000 円
- 小口資金貸付事業 貸付実績 12 件 327,000 円(令和4年度末貸付総額)
- 訪問型サービス事業
令和3年8月より町内に在住する要支援者 1,2 の方を対象として、利用者が要介護状態となる事の予防、要介護状態の軽減または悪化を防止し、住み慣れた自宅で自立した日常生活を営むために、掃除や調理、ゴミ出しなどの軽微な家事援助など、松野町事業実施要綱に基づき、生活援助に限定したサービスを実施した。

【在宅福祉サービスの推進事業 ～介護保険事業～】

- 居宅介護支援事業
ケアプランの作成や相談支援活動を行い、24時間連絡相談体制を整備するなど、利用者が健全で安らかな在宅生活が送れるよう、また、家族の介護負担の軽減が図れるよう努めた。対象世帯の抱える課題を解決するため、地域、施設等をつなぐパイプ役として、地域包括支援センター、医師、民生委員、本会の地域福祉部門等との連携により、地域福祉の向上に努めた。

【共同募金配分金事業】

- 令和4年度の募金実績 一般募金 716,606 円 歳末たすけあい 299,600 円
- 皆様からの温かい募金を財源に、下記のとおり活用させて頂きました。総事業費 524,803 円
 - ・専門業者による遊具の点検。55,000 円
 - ・住民活動の活性化と健康づくりへの支援、中学卒業記念品、小学校入学記念、福祉ボランティアグループ、サロン活動における助成。469,803 円
- 歳末たすけあい運動
 - ・民生児童委員の協力により、町内外 188 名を対象に、見守りを兼ねて訪問活動を実施。261,000 円

【まごころ銀行運営事業】

○町民の方々の善意の寄付金を受付管理し、その健全な管理運営を行なうとともに、地域福祉活動や介護保険事業などへの活用を図った。

○助成状況(公募)

- ・令和4年度 まごころ銀行助成金交付事業(公募) 助成金交付2団体 142,000円

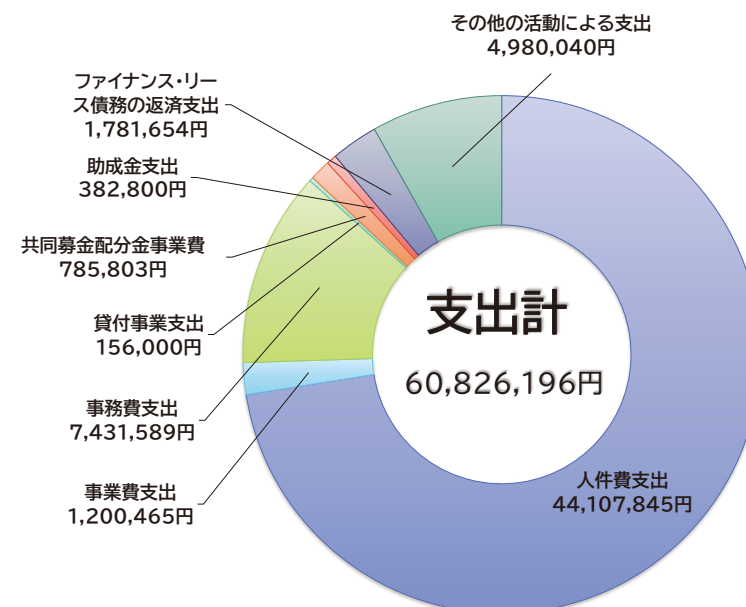
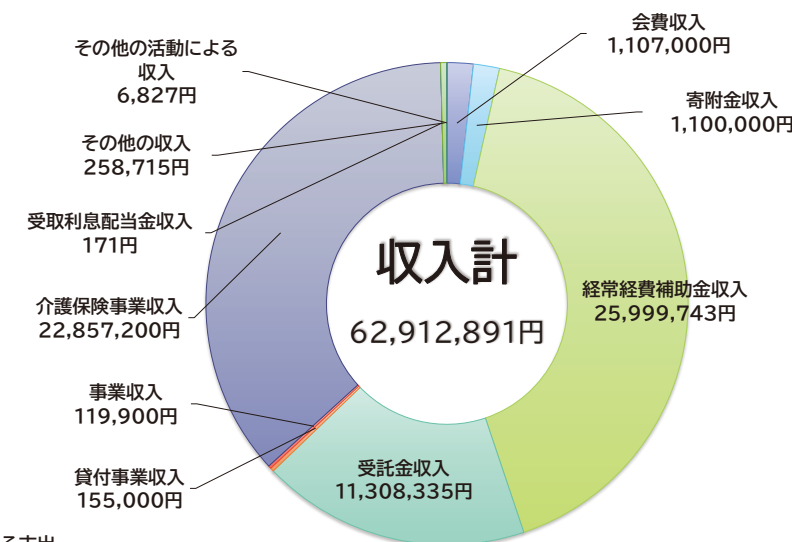
○社協事業での活用

事業名	内容	活用額(円)
法人運営事業	事務費	78,000
生活困窮者自立支援事業	活動費、広報費	322,000
居宅介護支援事業	活動費	200,000
合計		600,000

○令和4年度の寄付受付状況

使途目的	件数	金額(円)	割合(金額比%)
地域福祉事業へ	11	280,000	25%
介護保険事業へ	5	130,000	12%
法人へ一任	27	690,000	63%
その他	0	0	0%
合計	43	1,100,000	100%

【収支決算】



収支差額
2,086,695円

詳しい内容はホームページに掲載いたします。

<http://matsuno-syakyo.or.jp/>

